



令和6年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和6年2月14日

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム
コード番号 3096 URL <https://www.ocean-system.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員社長室長 (氏名) 山田 秀樹

TEL 0256-33-3987

四半期報告書提出予定日 令和6年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第3四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第3四半期	64,704	10.0	1,748	62.5	1,817	59.2	1,275	91.5
5年3月期第3四半期	58,831	7.9	1,076	12.3	1,141	12.3	665	13.1

(注) 包括利益 6年3月期第3四半期 1,337百万円 (98.2%) 5年3月期第3四半期 674百万円 (27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第3四半期	135.48	
5年3月期第3四半期	70.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年3月期第3四半期	24,261	10,279	42.4	1,091.93
5年3月期	22,016	9,073	41.2	963.84

(参考) 自己資本 6年3月期第3四半期 10,279百万円 5年3月期 9,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期		7.00		7.00	14.00
6年3月期		7.00			
6年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,600	10.2	1,950	72.7	2,040	64.8	1,320	268.5	140.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(令和6年2月14日)公表しました「通期業績予想の再修正(上方修正)に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期3Q	10,833,000 株	5年3月期	10,833,000 株
期末自己株式数	6年3月期3Q	1,419,327 株	5年3月期	1,419,227 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年3月期3Q	9,413,696 株	5年3月期3Q	9,413,773 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、社会・経済活動の正常化に向けた動きが一層強まり、穏やかな回復基調となりました。一方、原材料やエネルギーの価格高騰、円安基調や物価上昇も続いており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましても、消費者の一部で賃金の増加がみられる一方、これを上回る物価上昇が生じており、購買行動における低価格志向は依然根強く、業種・業態の垣根を越えた競争や原材料の調達価格や物流費、光熱費や人件費といった各種コストの増加により厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、創業60周年を迎えた当社は、基本理念としての食の「安全・安心」に取り組むとともに、中期経営計画で掲げた『IDEA & INNOVATIONで、新たな価値をつくる』を推進し、お客様に提供する商品やサービスの質の向上と、自社ECアプリのコンテンツ拡充による会員数増加を図り、企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は647億4百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は17億48百万円（前年同期比62.5%増）、経常利益は18億17百万円（前年同期比59.2%増）となりました。また、株式会社ヨシケイ両毛を子会社化したことに伴い特別利益（負ののれん発生益）を1億4百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億75百万円（前年同期比91.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(スーパーマーケット事業)

スーパーマーケット事業につきましては、週末のインスタプロモーションの強化を行うとともに、チャレンジャー巻店の「移転一周年祭」や12月の「創業祭」では、コロナ禍で差し控えていたマグロ解体ショーといった多くのイベントを再開するなど、販売促進活動に注力しました。また、夏場の猛暑の影響や原材料価格の高騰などによる度重なる仕入価格の上昇に対しては、消費者ニーズに応えたEDLP（エブリデイ・ロープライス）等の価格訴求策が奏功し、来客数は堅調に推移しました。

繁忙期となる年末商戦につきましても、雪による集客への影響は少なく、好調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は202億83百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は7億60百万円（前年同期比65.2%増）となりました。

(業務スーパー事業)

業務スーパー事業につきましては、イベント業者向けの需要が大きく回復したことに加え、ストアブランド商品が多くメディアで取り上げられたことにより売上は好調に推移しました。また、店内で調理した惣菜や弁当を販売する「馳走菜」では、お好みの揚げ物をお客様自身でパック詰めする「フライバイキング」を一部店舗で開始したことによりお客様の利便性は向上しました。

店舗につきましては、10月に1店舗の移転と、「業務スーパー諏訪店」（長野県諏訪市）、11月には子会社である㈱カワサキで「業務スーパーつくばみらい店」（茨城県つくばみらい市）をオープンしました。これにより、当社グループの当第3四半期末の直営店舗数は77店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は335億16百万円（前年同期比13.0%増）、セグメント利益は12億40百万円（前年同期比48.1%増）となりました。

(弁当給食事業)

事業所向け宅配弁当につきましては、喫食者ニーズの多様化により販売食数は伸び悩んでおり、品質や味・見栄えの向上を図ることでお客様に満足いただける商品作りを継続して取り組みました。また、度重なる原材料価格の値上がりや人件費を含む配送費の上昇に対し、徹底したコスト管理を行ったものの、現状の価格による販売の継続が難しい状況となったため、適正価格への引き上げを行い利益率は大きく改善しました。

惣菜等の受託製造を行っている千葉工場につきましては、商品の改廃でアイテム数が減少したことにより一時的に販売数は減少しましたが、年末限定商品の受注増加と新規受託先の獲得により売上高は前年並みとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は69億2百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は2億95百万円（前年同期比94.7%増）となりました。

(食材宅配事業)

福祉施設などへの食材販売を行う「ヨシケイキッチン」につきましては、利便性が評価され受託件数は順調に増加し、サブ・フランチャイズであった㈱ヨシケイ両毛を子会社化したことで売上高は増加しました。しかしながら、主力商品である一般家庭向け食材セット「すまいるごはん」につきましては、販売平均単価は上昇したものの、新規顧客数は前年には及ばず、販売セット数は減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は36億63百万円（前年同期比4.3%増）、事業体制の整備と最適化に取り組んでいるものの、人件費の増加や仕入価格の上昇によりセグメント損失は9百万円（前年同期はセグメント利益1億3百万円）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館、その他事業につきましては、経済活動の正常化による人流の回復に伴い、旅行代理店からのバスツアー等の送客による昼食利用は大幅に回復しました。しかしながら、宿泊利用については個人客が多く、宿泊単価は増加したものの定員稼働率は低調に推移し、外食店舗の売上高もコロナ禍以前までの回復には至りませんでした。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は3億38百万円（前年同期比2.0%減）、セグメント損失は48百万円（前年同期はセグメント損失24百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ22億44百万円増加し、242億61百万円となりました。これは主に、売上高の増加に伴い現金及び預金が10億94百万円及び売掛金が6億64百万円増加し、建物及び構築物(純額)が3億22百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億38百万円増加し、139億81百万円となりました。これは主に、長期借入金が5億53百万円減少したものの、買掛金が11億91百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等が2億13百万円及び未払法人税等が1億93百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億5百万円増加し、102億79百万円となりました。これは主に、利益剰余金が11億43百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2ポイント上昇し、42.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、令和5年8月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を上方修正いたしました。

詳細につきましては、本日（令和6年2月14日）公表いたしました「通期業績予想の再修正（上方修正）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,506,056	4,600,459
売掛金	2,539,343	3,203,851
商品	2,255,214	2,310,546
原材料及び貯蔵品	195,338	196,365
その他	505,472	751,483
貸倒引当金	△1,733	△1,787
流動資産合計	8,999,692	11,060,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,602,854	5,925,154
土地	3,123,210	3,172,533
その他(純額)	1,282,374	1,329,612
有形固定資産合計	10,008,440	10,427,300
無形固定資産		
のれん	16,698	13,353
その他	246,937	230,568
無形固定資産合計	263,635	243,921
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	29,739	27,431
その他	2,717,068	2,503,344
貸倒引当金	△1,945	△1,888
投資その他の資産合計	2,744,862	2,528,887
固定資産合計	13,016,938	13,200,109
資産合計	22,016,630	24,261,029
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,296,016	5,487,847
短期借入金	945,702	785,308
未払法人税等	204,754	398,122
賞与引当金	238,129	101,639
資産除去債務	6,258	11,996
その他	1,946,212	2,483,546
流動負債合計	7,637,074	9,268,460
固定負債		
長期借入金	3,274,200	2,720,844
リース債務	593,626	520,106
退職給付に係る負債	1,393	18,006
役員退職慰労引当金	165,900	183,040
資産除去債務	917,466	931,499
その他	353,557	339,980
固定負債合計	5,306,143	4,713,476
負債合計	12,943,218	13,981,937

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	8,687,742	9,831,312
自己株式	△1,169,721	△1,169,816
株主資本合計	8,686,513	9,829,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	405,024	458,550
退職給付に係る調整累計額	△18,125	△9,444
その他の包括利益累計額合計	386,899	449,105
純資産合計	9,073,412	10,279,091
負債純資産合計	22,016,630	24,261,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	58,831,298	64,704,370
売上原価	45,637,569	50,129,991
売上総利益	13,193,729	14,574,378
販売費及び一般管理費	12,117,515	12,825,757
営業利益	1,076,213	1,748,621
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	728	848
受取家賃	28,552	31,595
その他	65,608	76,008
営業外収益合計	94,903	108,466
営業外費用		
支払利息	16,167	17,955
障害者雇用納付金	9,650	10,475
その他	3,484	11,057
営業外費用合計	29,301	39,487
経常利益	1,141,815	1,817,601
特別利益		
受取保険金	13,140	—
負ののれん発生益	—	104,857
特別利益合計	13,140	104,857
特別損失		
固定資産除却損	38,599	10,478
賃貸借契約解約損	2,178	5,011
災害による損失	40,175	—
その他	—	3,256
特別損失合計	80,953	18,746
税金等調整前四半期純利益	1,074,002	1,903,711
法人税、住民税及び事業税	332,576	590,347
法人税等調整額	75,542	38,002
法人税等合計	408,119	628,350
四半期純利益	665,883	1,275,361
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	665,883	1,275,361

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益	665,883	1,275,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,669	53,525
退職給付に係る調整額	7,398	8,680
その他の包括利益合計	9,067	62,205
四半期包括利益	674,950	1,337,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	674,950	1,337,567
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	18,787,846	29,656,089	6,530,601	3,511,284	345,476	58,831,298	—	58,831,298
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,114	4,499	381,938	16,022	716	404,290	△404,290	—
計	18,788,961	29,660,588	6,912,539	3,527,306	346,193	59,235,589	△404,290	58,831,298
セグメント利益 又は損失(△)	460,265	837,735	151,810	103,215	△24,576	1,528,450	△452,237	1,076,213

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△452,237千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△452,378千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	20,283,600	33,516,579	6,902,620	3,663,127	338,441	64,704,370	—	64,704,370
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,256	1,142	395,774	13,307	1,716	413,197	△413,197	—
計	20,284,856	33,517,722	7,298,395	3,676,435	340,158	65,117,567	△413,197	64,704,370
セグメント利益 又は損失(△)	760,396	1,240,822	295,603	△9,055	△48,694	2,239,072	△490,451	1,748,621

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△490,451千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△490,626千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

「食材宅配事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に株式会社ヨシケイ両毛の株式を取得し連結子会社としました。これに伴い、負ののれん発生益104,857千円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。